

平成 24 年度市町村文化行政担当課長会議【会議結果】について

- 1 開催日時 平成 24 年 11 月 7 日（水） 13：30～14：42
- 2 開催場所 議会庁舎 2 階 203 会議室
- 3 出席市町村数 24 市町村（※市町村行事等の都合により 12 市町村欠席）
- 4 指針素案に対する市町村からの意見
 - ・文化とは継続性のあるものであり、1 年で終わりというものではない。指針が策定されれば財政が厳しい中でも予算が措置されると思うが、継続性、長い目で見てもらえるような支援をお願いしたい。（太田市）
 - ・農村歌舞伎の舞台公演をすると、かなりの費用がかかる。伝統を継承するためには舞台を動かす必要がある。何らかの支援がしてほしい。（渋川市）
 - ・子供たちを対象とした文化芸術に触れる機会の提供、例えば、学校における能の鑑賞会など、学校サイドでも有効的に活用できるような支援をほしい。（渋川市）
 - ・獅子舞などの継続、後継者育成を含めて助成をしてほしい。（渋川市）
 - ・草津音楽国際アカデミーは、やっと全国的に認知されるようになってきた。今後も引き続き支援をお願いしたい。（草津町）
 - ・伝統文化に対する支援は充実していると思うが、これから作っていく文化の支援があるとよいと思う。（館林市）
 - ・財政状況が厳しい中、文化協会へ支援をしているが、他の団体に支援をできる状態ではない。県には、それらの文化団体に対する支援を継続してほしい。（桐生市）